

歴史に残る名演説：“I have a dream.”

史上まれにみる接戦を制して民主党のオバマ大統領が共和党のロムニー候補に勝利しました。4年前、アメリカ合衆国にアフリカ系のトップリーダーが誕生した時には、歴史の新しい流れに世界が注目したものでした。その原点は約40年前に暗殺で倒れたマーティン・ルーサー・キング博士に見ることができます。

「I have a dream」(私には夢がある)で始まるキング博士の演説は、ジョン・F・ケネディ大統領の就任演説と並び、20世紀のアメリカを代表する名演説とされています。人種差別の撤廃と各人種の協和という高邁な理想を掲げながら、簡潔な文体と平易な言葉……。その呼びかけを訳しながら私自身も深い感動に引き込まれていきました。以下、その一部をご紹介します。(「Speeches—The Penguin Book of twentieth Century」から)



.....
私はきょう友人である皆さんに訴えたい。
この瞬間、困難や不満があるにもかかわらず私は今なお夢を抱いている。それはアメリカンドリームに深く根を張った夢である。

私には夢がある。いつの日か我が国民が立ちあがり、信念の本当に意味するものの夢をかなえるために立ち上がることを。その信念とはすべての人間は平等に創造されたという自明の真実である。

私には夢がある。いつの日かジョージアの赤い丘の上で、これまで奴隷だった人の子供と、これまで奴隷の所有者だった人の子供が兄弟のテーブルと一緒に座ることができることを。



私には夢がある。いつの日か不正と弾圧の熱で増えつつある暑い砂漠のミシシッピ州までも自由と正義のオアシスに変わっていくことを。

私には夢がある。いつの日か私の4人の小さな子供たちが、人間が肌の色で判断されるのではなくその人間性の内容によって判断されるという国に住むことを。



今日、私には夢がある。

私には夢がある。いつの日か州知事の唇が干渉と無効化の言葉で滴り濡れているアラバマ州で、小さな黒人の少年と少女が小さな白人の少年と少女と兄弟として手をつなぎ一緒に歩けるような状況に変わっていくことを。



今日、私には夢がある。

私には夢がある。いつの日かすべての谷が高くなり、すべての丘と山が低くなり、でこぼこの地面が平らになり、曲がった場所は真っすぐになり、そして神の栄光が顕現され、生きとし生けるもののすべてと一緒にその栄光にさずかれることを。

——誰でもがわかる具体的で分かりやすい呼びかけですね。でもそこには強烈な思想性と高邁な夢があります。昨今の日本の政情、社会状況を見るにつけ、わが国にもこんな高い志を持った社会運動家、政治家が出現することを切望するばかりです。